学校番号	３０８

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「公共」　（実教出版）						
副教材等	ライブ！公共 2026　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、現代社会における政治、経済、国際関係などの様々な課題について客観的にそれら政治、経済、国際関係それぞれの分野から学習し、色々な角度からアプローチして現代社会をより深く、さらに理解することを目指します。
・現代社会の諸問題について、教科書を中心に基本的な学習を行い、主体的な分析に考察を加え、周りの人と理解を深め、共同して問題に対処する素養を養います。
・新聞も教材として扱い、教科書の内容と連携させて時事問題、科目の内容の理解をタイムリーなニュースを活用することにより理解を深め、NIE を実践します。
・将来、より良い社会の実現に関わることを意識してもらい、公民としての素養を培います。

2　学習の到達目標

・多くの現代社会における資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身に付ける。
・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実から多面的・多角的に考察し公正に判断する力や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論して合意形成する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする良識ある公民として必要な能力と態度を育て、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。	・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに小テスト、定期考査、プリント、活動の様子の観察、レポート、口頭発表などを評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　社会を作る私たち	・人生における青年期の意義。 ・青年期の特徴 ・自分の欲求が実現されない場合、どう対応すべきか。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法。	a:人間は、個人として相互尊重され、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組と知恵に触れ、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b:社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
	第2章人間としてよく生きる　第3章他者とともに生きる	・パーソナリティの理論。 ・青年期の発達課題。 ・ベンサム、ミル、ロールズ、センの考え方 ・リバタリアニズム、 コミュニタリアニズム	a:選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b:倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，個人と社会の幸福についての先哲の考え方への理解を通じ、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等

	第４章民主社会の倫理　第５章民主国家における基本原理	・人間の尊厳と平等 ・権利と義務の関係 ・民主政治の意義と課題。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について。	a:人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 b:公共的空間における基本的原理について、思考実験などを用いて考察する活動を通じ，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間における基本的な原理について主体的に追及しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
２学期	第２編　第１章日本国憲法の基本的性格　第２章　日本の政治機構と政治参加	・日本国憲法の成立の経過 ・日本国憲法の三大基本原理 ・人権の広がりと公共の福祉 ・政治機構と国会、公正な裁判 ・行政権と行政機能の拡大 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治、選挙制度 ・世論と政治参加	a:憲法の下、適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて、理解している。また我が国の安全保障と防衛などに関わる社会の事柄や課題から日本国憲法の平和主義について理解を深め、現実社会の諸課題に関わる諸資料から自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集して読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定して合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して法や規範の意義及び役割、日本の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題および政治と民意の関係について主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等

	持続可能な社会	持続可能な地域、国家・社会・国際社会づくり	a 選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理など、習得した知識及び技能を活用している。 b:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだして、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等
3学期	第1章現代の経済社会　第2章日本経済の特質と国民生活	・雇用と労働問題 ・財政及び租税の役割 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 ・市場経済の機能と限界 ・金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題	a:雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能、金融の働きなど現実社会の課題を基に、自由で公平な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定して合意形成や社会参画を視野に入れながらその主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 C:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実、市場経済の機能、金融の働きなどに関わる現実社会の課題など現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、定期考査等	小テスト、定期考査、プリント等	活動観察、レポート、口頭発表等

	第２章　国際経済の動向と課題	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。） ・国際社会の相互依存関係 ・地球的な課題	a:経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基にこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる資料から自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集して読み取ってまとめる技能を身に付けている。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定して合意形成や社会参画を視野に入れながらその主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通して経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト、 定期考査等	小テスト、 定期考査、 プリント等	活動観察、 レポート、 口頭発表等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度